

平成23年7月28日

氷見市総合計画審議会

会長 石 出 宗 秀 様

元気づくり部会長 姫 野 貞 夫

氷見市総合計画審議会元気づくり部会の意見等について（報告）

5月10日の本部会における審議結果を、下記のとおり報告いたします。

## 記

### 1 農林水産について

- (1) 耕作放棄地の増加に伴い、イノシシ等の鳥獣被害が増えてきている状況にあります。そのため、野生動物を食材に活用した料理を開発するなど、不利な状況を逆手にとったアイデアを出し、山林の荒廃抑止や中山間地域の振興等の一助としていくことを求めます。
- (2) 地域の埋もれた農林水産資源の発掘を促進し、郷土色豊かな特産品づくりとその販売による地域の活性化につながる取組みの実施を求めます。

### 2 商工観光について

- (1) 市内で種々の面白いイベントが開催されていますが、そのPRが不足しています。積極的かつ効果的なPRを実施すればもっと集客できるのではないかと考えます。また、その経済波及効果を高めるため、イベントへの参画団体を増やすなど、飲食業や観光業等の連携強化に向けた取組みの実施を求めます。
- (2) 氷見市はまだ全国的な知名度が不足しています。そのため、一層の観光

PRの推進が必要です。同時に、観光客に対応した広く親しまれる商店街づくりを促進するなど、受入れ体制の構築に向けた取組みの実施を求めます。

(3) 春の全国中学生ハンドボール選手権大会の開催が観光業の活性化に寄与しています。この大会が10回で終了予定であることから、幅広い世代に支持されているマラソン大会を実施するなど、スポーツイベントによる新たな地域おこしを検討されるよう求めます。

(4) 市の観光業の振興のためには、「ひみ寒ぶり」のような、これまで観光の目玉として連綿と築いてきた競争力のある「強いもの」をより強くしていくことが重要です。そのための施策の拡充を求めます。

### 3 労働について

(1) 若者の定住につながる「働きたいまち」を実現するため、他の自治体に負けない積極的で斬新な企業誘致策の実施による雇用の場の拡大を求めます。また、東日本大震災を機に企業がリスク管理体制の再構築を図り、生産拠点の分散化を急いでいる状況にあるため、その対応に不備が無いよう求めます。

### 4 部会の所管事項全体について

(1) 市内には、様々な分野（食、産業、景観、伝統文化など）においてポテンシャルの高い地域資源が多く存在しているのですが、それらの連携が不足しています。そのため、「オール氷見」という考え方で地域資源のネットワーク構築を図り、市の魅力向上に向けた取組みを展開するよう求めます。

(2) 市内産業の活発化のため、情報交換や人脈づくり等を目的とする異業種交流や広域連携を促進させる取組みの実施を求めます。

### 5 その他について

(1) 工場の誘致や豊かな生活水準の維持のためには、安全で安定的な電力の供給が必要です。そのため、市として、原子力発電所の安全措置がしっかり講じられるよう電力会社に求めていくことや、原子力災害への対策を強化されること求めます。